

日本橋モラロジー事務所 概論研究会（4）

普通道徳と最高道徳

日本での倫理道徳について

・日本では「倫理道徳」に関し、いろいろな表現が存在する

- ・ 無常
- ・ 行雲流水
- ・ 人間万事塞翁が馬
- ・ 利は元にある
- ・ 百八煩惱
- ・ 四苦八苦
- ・ 恥を知れ
- ・ 陰陽一体
- ・ 色即是空 空即是色
- ・ もののあわれ
- ・ 果報は寝て待て
- ・ 人事を尽くして天命を待つ
- ・ 稼ぐに追いつく貧乏なし
- ・ 怠け者の節句働き
- ・ 李下に冠を正さず
- ・ 転ばぬ先の杖
- ・ 武士に二言なし
- ・ 卑怯は真似せず
- ・ 神は人によりて尊し
- ・ 人の振り見て我が振り直せ
- ・ 青年を大志を抱け
- ・ 大器晩成
- ・ 鬼は外 福は内
- ・ 笑う門には福来たる
- ・ 石橋を叩いて渡る
- ・ 深謀遠慮
- ・ 正直の頭に神宿る
- ・ 敬天愛人
- ・ 地獄極楽 西方浄土
- ・ 知恵、感思、報恩
- ・ 三つ子の魂百までも
- ・ 情けは人のためならず
- ・ 徳は弧にならず 必ず隣あり
- ・ 短期は損気
- ・ 誠の心
- ・ 清き明き直き心
- ・ 嘘も方便
- ・ 和を以て貴しとなす
- ・ 知（鏡）人（玉）勇（険）

普通道徳とは

- 人類はいのちを保存し発達させたいという自己保存の欲求を満たす
- 社会を秩序づけるために長い時間をかけて形成したもの
- 社会慣習や礼儀作法、立ち居振る舞いなど、相互に尊重されるべき物
- 具体的例
 - 健康を保つ
 - 勉学に励み、実力を身につける
 - 働いて生活を向上させる
 - 良好な人間関係を作る

現在社会と普通道徳

- コンプライアンス（法令遵守）の実施
- 情報公開と説明責任
- 個人情報保護
- 安全管理の徹底
- 情報処理におけるセキュリティの確保

- つまり
 - 他人にストレスを与えない → 自分がストレスに苛まれない！

普通道徳の限界

- 普通道徳の種類と特徴

- 一時的で勘定的に燃え上がる道徳
- 利己主義を秘めた道徳
- 道場、親切心の道徳
- 返礼を要求する道徳
- 冷たい知的な道徳
- 形式的な道徳
- 熱心・奮闘の道徳

- つまり、自己中心的な傾向があり、効果が少ないきらいが . . .

最高道徳の登場

- 世界諸聖人の思想を元にした最高道徳の特色
 - 世界諸聖人とは
紀元前5世紀頃の「枢軸時代」孔子、ソクラテス、イエス、釈迦など・
 - 第1に・・・聖人は、神を信じてその心に従い・・・
 - 第2に・・・迫害や無理解の仕打ち・・・
 - 第3に・・・神仏の心を会得して
 - 第4に・・・第5～第7
- ①広大な慈悲心を育てる
- ②精神を教育する
- ③正義と平和を希求する
- ④救いの道を教える
- ⑤知徳一体を説く
- ⑥弱さを思いやる

普通道徳と最高道徳

- 普通道徳とは
 - 良心を尊重し、自らが良心によって判断し行動する。
 - 「人事を尽くして天命を待つ」という行動指針を唱える
 - → 自分の良心は、人間の自己中心的の傾向を残した危ういもの
- だから
- 最高道徳の実行の実践
 - 深く天道を信じて安心し立命する
 - 無我の心を初めて良果を生む
 - 天命に従い曲（つぶさ）に人事を尽くす
 - 慈悲寛大自己反省
 - 動機と目的と方法と誠をつくす
 - 苦悶の中に自暴自棄せず
 - 盛時に驕らず衰時に悲しまず

普通道徳ではだめ？

- 最高道徳は学問として、崇高な理論である . . .
 - しかし、実践の場はあるの？
- 普通道徳をもっと極めた方が近道では . . .